

科目名	世界史B	単位数	4	必修選択	選択
教科書	詳説世界史 改訂版（山川出版社） 地歴高等地図 ー現代世界とその歴史的背景ー（帝国書院）				
副教材	ニュースページ世界史詳覧（浜島書店） 一問一答世界史（山川出版社）		世界史用語集（山川出版社） 新世界史研究ノート応用編（啓隆社）		

教科・科目の内容

2年次の世界史Bでは古代から中世を学びました。3年次の世界史Bでは、大航海時代によって幕開けした近世、そしてその先の近現代までを中心に学びます。

歴史は年表の暗記や人名や出来事を覚える科目ではありません。特に近世以降の歴史は宗教対立や各国の利害関係が複雑に絡み合います。そのため、歴史事象に対して、5W1H（いつ、どこで、だれが、何を、なぜ、どのようにしたのか）を常に意識していくことがより大切になります。

一通り学習が終了したら、国ごとの歴史、同時代の歴史、テーマ史ごとに既習事項を振り変えることで、世界史全体の事象のつながりを意識できるようにしていきます。

日常生活や将来とのつながり

2020年は新型コロナウイルスによるパンデミックが世界中で大きな問題となりました。しかし、世界史を学ぶと14世紀におけるペストの大流行、20世紀におけるスペイン風邪など人類が感染症によるパンデミックに度々直面してきたことが分かります。では人類はそうした危機をどのように乗り越えてきたのでしょうか。歴史を学ぶことは未来への自分、人類にとっても有益なことであると考えられます。

また、グローバル化する現代社会において、あなた方はこれまで以上に世界との関りが深くなるでしょう。その時に日本のことだけでなく、広い視野で多角的に世界を見る力が求められます。世界史を学ぶことで、現代の国際問題を理解し、適切な判断ができる力を身に付けてもらいたいと思います。

この授業の学習方法(予習と授業の関わり)

世界史を学ぶ上で重要なことは、時間軸と空間軸を把握し、歴史の「流れ」をつかむことです。それぞれの用語を覚えることも大切ですが、それ以上に「どのような時代」であるのかという歴史の大きな流れを意識しましょう。予習として教科書を読んでおくこと、復習としてノートを見直しまとめ用のノートをつくるなど、主体的に学ぶことが大切です。また、地図を活用することで、ビジュアル的に歴史を理解すると定着度が上がるでしょう。

到達目標

人類が積み重ねてきた多くの歴史事象を理解することで、現在の社会現象を客観的に見ることができるようになり、変化の激しい現代を生き抜く力を身につけることです。

評価の観点(評価方法)

① 関心・意欲・態度(活動状況・ワークシート・ノート)

世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。

② 思考・判断(活動状況・ワークシート・定期試験)

世界の歴史から課題を見だし、文化の多様性・複合性や現代社会の特質を多面的・多角的に考察し国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。

③ 資料活用の技能・表現(活動状況・ワークシート・定期試験)

世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して読み取ったり図表などにまとめている。

④ 知識・理解(小テスト・定期試験)

世界の歴史について基本的な事項を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。

指導学年	科目名	単位数	教科書名（出版社）	副教材名
3年	世界史B	4	詳説世界史 改訂版（山川出版社） 地歴高等地図 ー現代世界とその歴史的背景ー（帝国書院）	ニューステージ世界史詳覧（浜島書店） 世界史用語集（山川出版社） 一問一答世界史（山川出版社） 新世界史研究ノート応用編（啓隆社）

学期	学習内容	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント	評価の観点			
			関	思	技	知
一学期	第10章 近世ヨーロッパ世界の展開 第11章 欧米における近代国民国家の発展	<ul style="list-style-type: none"> 産業革命・市民革命の前後で、生活や社会のあり方がどのように変化してきたかを、さまざまな視点から追究している。 産業革命で変化した社会、およびアメリカ独立・フランス革命によって形成された「国民国家」は、従来とはどのような点で異なるのか説明できる。 ウィーン体制の特色とその崩壊過程、社会主義思想の成立と普及について、関心を持って学習しようとしている。 クリミア戦争以後の国際対立とビスマルク外交に関して、のちの第一次世界大戦に関連づけて考察し、文章にまとめる。 	○	○	○	○
	※ 中間試験・ノート点検		○	○	○	○
	第12章 アジア諸地域の動揺 第13章 帝国主義とアジアの民族運動	<ul style="list-style-type: none"> 欧米諸国の進出に対するアジア各地域の動きを考察し、表現できている。 欧米諸国の進出に対するアジア各地域の外交・内政について理解するとともに、アジア諸国間の国際関係について理解している。 帝国主義による世界の一体化が進む中、それにより圧迫されたアジア・アフリカの動きに関心を持ち、追究している。 欧米諸国のアジア進出が、各地域のナショナリズムを高揚させる契機になったことを考察し、表現できる。 欧米諸国が植民地を求めた理由として市場と原料供給地が必要であったこと、植民地化をまねかれた国では欧米諸国の圧力に対する変革が模索されていたことについて理解している。 	○	○	○	○
	※ 期末試験・ノート点検		○	○	○	○
二学期	第14章 二つの世界大戦 第15章 冷戦と第三世界の独立	<ul style="list-style-type: none"> 第一次世界大戦の原因や性格について、これまでの戦争との違いを多角的に考察し、文章にまとめる。 アジア諸地域で展開された大衆的な基盤を持つ民族運動に関する基本的な知識を身につけている。 各地のファシズムの特徴と勢力拡張の過程について、関心を持って学習しようとしている。 戦後世界における資本主義陣営と社会主義陣営、第三勢力それぞれの動向を考察し、表現できる。 	○	○	○	○
	※ 中間試験・ノート点検		○	○	○	○
	第16章 現在の世界 各国史 同時代史	<ul style="list-style-type: none"> 地域紛争や新しい形の紛争（テロ）、地域統合の進展、新興国の勃興、地球環境問題などに関心を持ち、追究している。 冷戦後も世界には解決すべきさまざまな問題がある一方で、ヨーロッパやアジアなどでは新たな地域協力の形が模索されていることを理解している。 教科書に掲載されている中東戦争によるイスラエルの領土拡大をあらわす地図、諸地域の図版・写真を適切に活用している。 国ごとの歴史についてまとめ、問題演習を行う。 2世紀、5世紀、6世紀、8世紀、10世紀、13世紀、15世紀、16世紀、17世紀、18世紀、19世紀、20世紀の歴史についてまとめ、問題演習を行う。 	○	○	○	○
	※ 期末試験・ノート点検		○	○	○	○
三学期	テーマ史	<ul style="list-style-type: none"> 宗教関係史、議会制度史など、世界史を理解する上で重要となるテーマについての歴史をまとめ、問題演習を行う。 	○	○	○	○
	※ 学年末試験・ノート点検		○	○	○	○
備考						